

「とんぼ そして 幸せの七つ星」 (平成21年10月完成) カラマツトンネル内南側壁面。 昨年、延べ555人が制作に参加。

# 1本のサイクリングロードで 人と人がつながる

子どもたちはこのトンネルで、学校では教え られない多くの事を地域の皆さんと一緒に学 びました。ここにはいつでも自由に参加でき る雰囲気があり、子どもも大人も楽しく作業 できました。

今後もサイクリングロード沿いに、この素晴 らしい活動が伝わり、多くの地域がつながっ ていくことを期待します。



大谷地小学校PTA会長 金井 誠司さん (写真左上) ※写真右上は妻あづみさん、下段左から亡沙く ん(小4)、美瑚都さん(小6)、紗夕葵さん(小3)

## ( みんなのまちについて考えてみる



クショップでは子どもも大人も真剣そのもの。世代を超えて 話し合うことで、自分たちの住む「まち」についてあらためて認 識を深めることができ、とても意義深い。



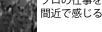
(写真左から) 小野寺佑太くん (中1) 「みんなで作れるのは楽しい」 本 圭 (ん (中 1) 「『トンボ』のデザインは実は 僕のアイデア。採用された時 は驚いたけど、とてもうれし かったです」



タイル割りも重要な仕事の1つ これが結構難し



プロの仕事を 間近で感じる。



# **みんなの手でステキなまちに**

### トンネルから広がる夢

白石区内を走る白石サイクリングロ - ドにはトンネルが15カ所。 同様の取り組みがほかのトンネルで も行われ、ゆくゆくは「アートロー ド」になり、観光スポットの1つと して、多くの人が行き交う光景が見 られるとうれしいですね。

栄通19・20丁目町内会会長 岩井準一さん



この空間

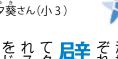
で多くの人と出会い

んな自ら進んで参

年齢に関係なく協力する姿は 毎日見られる風景。







っくりと探してみるのも楽し

川原 優輝くん (小3、厚別区在住) 「最後の7つ目の 星を壁に張れて良 かったです」

業は、日々の作業場設営に始まり 南側は約8万枚、北側は約10万枚 イル割りや目地塗り、 がしっかりと役割を果たし 画に隠された「幸せの七つ星 ルを張るだけでは 進行状況に応じてそれ 小片はなんと約18万枚 幸せの願いを込 の両壁面に張り タイルふき

組む姿勢に違い 完成を目指 時間を共有し んな

ばみ.

れるためだけに顔を出す人もいた。盛りの作業中、冷たい飲み物を差し黙々と作業を進める人もいた。夏真 てじっくり取り組むか、 を通して出会っ がら手を動

かす人もい 原田さんと楽しく 夏真っ ħ ば



すべての